

千葉県誕生 150 周年記念 加納久朗没後 60 年
シンポジウム

加納久朗の描いた世界 to the next 100years



日 令和 5 年
時 11 月 25 日 (土)
13 : 30 ~ 16 : 30
(13 : 00 開場)



千葉県 PR マスコットキャラクター
チーバくん (150 周年記念ロゴ)

プログラム

【開会行事】

【講演 1】「日本住宅公団と総裁・加納久朗」
松本 真澄 氏 (東京都立大学都市環境学部助教)

【講演 2】「ネオ・トウキョウ・プランと加納久朗」
當眞 嗣史 氏 (公益財団法人千葉県教育振興財団
文化財センター調査第二課課長)

【講演 3】「アイデアマン知事・加納久朗知事の 111 日間」
中村 政弘 氏 (四街道市教育委員会市史編さん主任)

【パネルディスカッション】(15 : 40 ~ 16 : 30)

コーディネーター：江澤 一樹 (一宮町教育委員会学芸員)
パネリスト：上記 3 名

【事前申込制】

入場無料、先着 70 名
お申込みは右記 QR コードもしくは
下記までご連絡ください。



【会場】

一宮町中央公民館 大会議室
(千葉県長生郡一宮町一宮 2460)
JR 外房線上総一ノ宮駅から徒歩約 10 分

【駐車場】100 台程度

【会場案内図】



一宮町教育委員会

【お問い合わせ】

〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮 2461
電話 0475-42-1416 (平日のみ)

ワレワレハ千葉県ノタメ 千葉県ハ日本ノタメ 日本ハ世界ノタメ

— 加納久朗あいさつ状(遺言状)

世界を舞台に活躍した国際人・加納久朗。戦後、日本住宅公団（現 UR 都市機構）総裁、千葉県知事をつとめ、また東京湾埋め立て計画を提唱するなど、千葉県の歴史にとって重要な人物です。彼がみていた世界はどんなものだったのでしょうか。彼の目に、日本は、千葉県はどのように映っていたのでしょうか。本シンポジウムでは戦後の加納久朗の動向を中心に、様々な視点から改めて久朗の功績・人物像を見つめなおし、考えていきます。



加納久朗 (1886 ~ 1963)

最後の上総国一宮藩主・加納久宜（1848 ~ 1919）の嫡男。戦中は横浜正金銀行ロンドン支店支店長として活躍。戦後の昭和 30 年（1955）、日本住宅公団の初代総裁に就任。昭和 37 年（1962）11 月、千葉県知事に当選。「アイデアマン知事」として各界に話題を提供するも、在任中の翌年 2 月に死去。享年 76 歳、知事在任はわずか 111 日間でした。

【関連事業】

- ・一宮町歴史資料展示室（一宮町中央公民館（長生郡一宮町一宮 2460）2 階ロビー）企画展示
7 月 28 日（金）～ 10 月 2 日（月）「加納久朗没後 60 年【前期展示】加納久朗と国際社会」
10 月 20 日（金）～ 12 月 25 日（月）「加納久朗没後 60 年【後期展示】戦後日本と加納久朗」

【申込方法】

下記のいずれかの方法で、11 月 17 日（金）までにお申し込みください。

- (1) 下記申込書を FAX またはメールにて送付。
もしくは教育委員会か公民館窓口へ持参。
- (2) 右記の Web フォームから申込み。



シンポジウム「加納久朗の描いた世界 to the next 100 years」参加申込書

氏名	ふりがな	住所	電話番号

【申込・問合せ先】〒 299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮 2461

電話：0475-42-1416 FAX:0475-42-1424 e-mail:syakai@town.ichinomiya.chiba.jp